

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 祖父江町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考		
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性		目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業所を中心に職員が巡回訪問して税務・労務・金融相談などの指導を行い、企業育成をする。また、経営全般に係る相談窓口を設置し、経営改善に資する指導も行う。	巡回指導 実企業数 123 延企業数 446 窓口指導 実企業数 118 延企業数 323 課題解決提案件数 20件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導件数 (達成度 76.9 %)	1000	769	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	20	20	小規模事業者に寄り添った支援を行うことにより、小規模事業者の持続的発展に貢献できた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	今後の展開・改善点等 指導も巡回・窓口指導の徹底に努める。	備考 ○
記帳指導業務	職員が個人事業主などを対象に正しい記帳方法の指導、決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力向上に結びつける。	指導件数 748 対象事業者数 47 指導日数 457	小規模事業者	指標 記帳指導事業者数 (達成度 104.4 %)	45	47	指標 (達成度 %)			記帳指導事業者に対し経営分析等の助言をし、経営力向上に繋がった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	小規模事業者の税務知識向上を図るため今後も継続実施する。	
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務等の知識習得及び時事的問題について啓発を図り、事業者の資質向上及び円滑な事業運営を資することを目的とする。	集団講習会 1回 延2名 個別講習会 40回 延41名	小規模事業者	指標 講習会開催回数 (達成度 102.5 %)	40	41	指標 (達成度 %)			講習会を通じて、小規模事業者の資質向上や時事的問題に対する理解度を高めることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 A	満足度 補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法② 変更する	個別講習会及び集団講習会の回数を減らす。	
地域振興祭事業 そふえイチョウ黄葉まつり	そふえイチョウ黄葉まつりを開催することで広く住民に産業・福祉・健康等についての関心・理解を深めていただき、必要性を考慮する機会や場を提供する。晩秋になって黄金色に染まったイチョウの木が立ち並んだ風景を町外の方にもご覧いただき、イチョウの町福沢市祖父江町としてのPRに努め、地域の活性化を図る。	新型コロナウイルス感染症により中止	地域商工業者 (小規模事業者)	指標 来場者数 (達成度 - %)	200000	-	指標 (達成度 %)			-	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 事業者への 満足度 - 必要性 -	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 変更する	新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかりと行いながら事業を実施する。また、メイン会場が来年度移転。	
青年部・女性部事業	部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	新型コロナウイルス感染症により中止	青年部員 女性部員	指標 部員数 (達成度 - %)	45	-	指標 (達成度 %)			-	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 事業者への 満足度 - 必要性 -	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	部員間交流や社会福祉を通じて地域活性化を図るため今後も引き続き実施する。	
部会・委員会事業	商工業部会・小規模企業振興委員会などの部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資することを目的とする。	新型コロナウイルス感染症により中止	商工業各部員 小規模企業振興委員	指標 構成員数 (達成度 - %)	31	-	指標 (達成度 %)			-	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 事業者への 満足度 - 必要性 -	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	商工業部会を通じて各企業の発展に努める。	
福利厚生事業	小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及など、企業の健全な育成に資することを目的とする。	新型コロナウイルス感染症により中止	小規模事業者	指標 共済加入事業所数 (達成度 - %)	210	-	指標 (達成度 %)			-	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 事業者への 満足度 - 必要性 -	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	共済制度普及や福利厚生事業を通じて会員間交流を深めるため、今後も継続実施する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 祖父江町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価											
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②			
労働保険事業	労働保険料の申告納付、その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	各種雇用保険関係手続年度更新などの事務代行労働保険未加入事業所への加入推進実施自己財源の確保 委託事業者数 17	委託事業者（小規模事業者）	指標	委託事業者数 (達成度 73.9%)			指標	委託事業者数 (達成度 %)			得られた効果	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	委託事業所が増えるよう今後も事業実施する。	
				目標数値	23	実績数値	17	目標数値		実績数値					A	必要性	B		現行どおり	実施方法①	実施方法②	
				目標数値				目標数値							C	B			現行どおり			
税務関係団体指導事業 青色申告会 一宮法人会祖父江支部 一宮間税会祖父江地区	税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートして事業運営に協力することで、国・地方公共団体・地域社会の発展、商工業の活性化に資することを目的とする。	新型コロナウイルス感染症により中止	税務関係団体（小規模事業者）	指標	税務関係団体会員事業所数 (達成度 - %)			指標	税務関係団体会員事業所数 (達成度 %)			-	総合評価	-	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	税務知識向上のため、今後も継続実施する。	
				目標数値	272	実績数値	-	目標数値		実績数値					-	必要性	-	新型コロナウイルス感染症による中止のために評価なし	現行どおり	実施方法①	実施方法②	
				目標数値				目標数値							-	-			現行どおり			
産業団体	産業団体の活動をサポートして事業運営に協力することで、国・地方公共団体・地域社会の活性化に資することを目的とする。	新型コロナウイルス感染症により中止	小規模事業者	指標	構成員数 (達成度 - %)			指標	構成員数 (達成度 %)			-	総合評価	-	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経営安定化や社会貢献のため今後も継続実施する。	
				目標数値	233	実績数値	-	目標数値		実績数値					-	必要性	-	新型コロナウイルス感染症による中止のために評価なし	現行どおり	実施方法①	実施方法②	
				目標数値				目標数値							-	-			現行どおり			
若手後継者等育成事業 青年部員の資質向上及びネットワーク構築事業	現在、青年部はマニュアル化した事業に取り組んでいる傾向にあり、新規事業活動は停滞気味である。また、新規部員獲得が課題となっている。そこで、部員数増加の糸口を掴むために中部ブロック商工会青年部連合会研修会への参加及び部員の資質向上のためのセミナーを開催する。	青年部資質向上セミナー令和3年1月20日開催参加人数：15名 中部ブロック商工会青年部連合会研修会出席令和2年11月10日開催出席人数：2名	青年部員	指標	事業参加者数 (達成度 34.0%)			指標	セミナー参加者アンケート満足度調査 (達成度 142.9%)			セミナー開催及び研修会への参加により、青年部員のビジネスに対する意欲の向上及び資質向上に繋がり青年部員の育成に繋がった。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も青年部・女性部活動を盛り上げていくような事業を実施する。 来年度資質向上セミナーは女性部にて開催する。	
				目標数値	50	実績数値	17	目標数値	70	実績数値	100				B	必要性	B		下げる	実施方法①	実施方法②	
				目標数値				目標数値							B	B			変更する	現行どおり		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。